

第3期農業ファシリテーター

養成研修会がいよいよ

スタートしました!



協働の“サロン”

地域の人 区長 他地域の人 NPO 行政
小学生 中学生 高校生 大学生

山形県農業会議では、地域での話し合いを推進するため、対話のスキルとまちづくりのスキルを学ぶ、「農業ファシリテーター養成研修会(全5回)」を実施しています。毎回ご好評をいただいております。本年度、いよいよ第3期の研修会がスタートしました。

～地域に開かれた農業を目指す～

やまがた れいわ next アクション News Vol.6

発行者: (一社)山形県農業会議
やまがた農業ファシリテーター研究会
(愛称: エンジョイ農学部)
発行日: 令和 4年 2月 4日



大人気講師 釘山健一先生

令和4年1月26日開催 第1回 まちづくりのスキル「基本編」



「一緒に夢実現型の話し合いをしよう!」

参加者の皆さん



学んだのは・・・「対話による協働のまちづくりのコツ」

地域に開かれた農業ってなんだろう?

まちづくりって? (みんなが〇〇に〇〇るまちをつくること)

まちづくり成功の最先端の6つの考え方 (農業の課題にも!)

対話によるまちづくりの指針 (協働のまちづくりの6段階)

<佐賀県での研修会の事例>

1月9日、24日開催
話し合いスキルマスター研修会(農業委員・最適化推進委員向け)



農業委員、農地利用最適化推進委員は、人・農地プランの実質化・実行に向けた話し合いにおいて、コーディネーター役として中心的な役割を担うことが期待されています。

地域に開かれた農業とは？

農業の課題を地域の課題にしていくこと！

そのためには「対話のスキル」と「まちづくりのスキル」が必要なんです！



大好き講師 小野寺さと子先生

～農業ファシリテーターとは「地域に開かれた農業の推進を担う人」のこと～

農業の課題は農業者だけの解決は難しく、また、地域の課題も地域だけでは解決が難しくなっています。農業者と地域住民が一緒になって、夢を語り合い、課題解決に取り組んでいくために、ファシリテーターの対話のスキルだけでなく、まちづくりのスキルも学んだ人のことを「農業ファシリテーター」といいます。

1期2期では、参加者のうち17名が**農業ファシリテーター(初級)**とて認定されました！



第1期で認定を受けた飯豊町農業委員会安部会長 へ



第2期で認定を受けた女性の受講生の皆さんへ

<第3期 研修会日程> ※参加ご希望の方は、山形県農業会議へご連絡下さい。

- 第1回 1月26日 「まちづくりのスキル(基本編)」 WEB **終了**
- 第2回 2月 4日 「まちづくりのスキル(応用編)」 WEB
- 第3回 2月17日 「中山間地の活性化の実現」 WEB
- 第4回 3月 3日 「対話のスキル～ファシリテーション(初級編)～」
- 第5回 3月18日 「対話のスキル～ファシリテーション(実践編)～」

地域住民と一緒に「地域の農業」について考える、それが「地域に開かれた農業」



研修会で学んだスキルを活かして！

やまがたの人・農地プラン「実質化」そして「実行」へ・・・

※山形県農業会議では、「やまがた地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」～れいわスタートダッシュ～の活動として、農業ファシリテーター養成研修会を開催しています。

山形県農業会議では、「やまがた地域の農地を活かし、担い手を応援する活動～れいわネクストアクション～」で、農業ファシリテーターの養成等、**農業委員会の活動を伴走支援**しています！

詳しくは山形県農業会議HPをご覧ください <http://www.yca.or.jp/>

